

研究主題

「未来へとたくましく生きる体づくりができる子どもの育成をめざして」
～友だちとのかかわり合いを生かした学習の流れの工夫を通して～

1 研究主題について

体育科においては、「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力」の育成を重視している。また、「健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる」と述べられている。心と体を一体としてとらえた指導が児童の心身ともに健全な成長を促すことにつながるといえる。さらに、運動の楽しさや喜びを味わえるよう基礎的な運動の技能や知識を確実に身に付けるとともに、それらを活用して、自らの運動の課題を解決するなどの学習をバランスよく行うことの重要性が指摘されている。

そこで、西伯郡では、体育科において児童のかかわり合いを通してわかる・できることの喜びを感じ合い、主体的に考える学び方を身に付ける学習の流れを工夫することで、たくましく生きる体づくりができる力を育てられるのではないかと考え、上記の研究主題を設定した。

2 研究の実際

西伯郡では、上記研究主題のもと、子どもたちが授業を通して「できた」と感じ、体を動かすことが楽しい、運動が好きだと思える子どもを育てることをねらいとし、「子どもの興味を引き出す用具の工夫」、「友だちとのかかわり方」、「自分の姿を見つめ直す場面」の3つの視点を具体的にどのように学習過程に仕組んでいくのかを重点に各学校で授業実践を行い、研究を深めてきた。

さらに、昨年度の中四国小学校体育研究大会（鳥取大会）での分科会発表をさらに充実、発展させていくことを目指し、

- ・会見小が作成した「会見スタンダード」を、「西伯スタンダード」として生かす
- ・ストーリー性のある活動を、低学年以外の学年にも広げる
- ・見通しを持って学習に取り組めるようにする

ことを意識して郡全体として取り組むことで研究を深め、各校の体育学習の充実へとつなげることができた。

3 具体的な取り組み

8月 3日	実技研修会 「楽しくやろう器械運動！」器械運動の指導実技講習会 講師 境港市立余子小学校 本池浩次教諭
8月10日、11日	夏季一泊研修会参加
10月30日	中・四国小学校体育研究大会参加（愛媛大会）
12月 1日	授業研究会 岸本小学校 第5学年 「サッカー」 授業者 西村貴世志教諭 長谷川美加子教諭
1月 5日	スキー指導者講習会（雪不足のため、中止）
2月26日	事業反省会 本年度の反省と28年度の研究の方向性について

4 来年度に向けて

昨年、米子市で行われた中・四国小学校体育研究大会（鳥取大会）では、これまでの郡の取り組みの成果を実感することができた。今年度も、その成果を郡内の各小学校に広げ、実践を充実させることができた。来年度も、さらに充実した体育の授業につなげていきたい。